

松戸市立総合医療センター
医療連携 News
第187号 (2022.12)

編集・発行 松戸市立総合医療センター 地域連携室
〒270-2296 千葉県松戸市千駄堀993-1 電話 047-712-2511 (代)
<https://www.city.matsudo.chiba.jp/hospital/>

医療機関各位

松戸市立総合医療センター
病院長 尾形 章

初冬の候、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

平素より、当院に対して一方ならぬご支援を賜りまして、厚くお礼申し上げます。

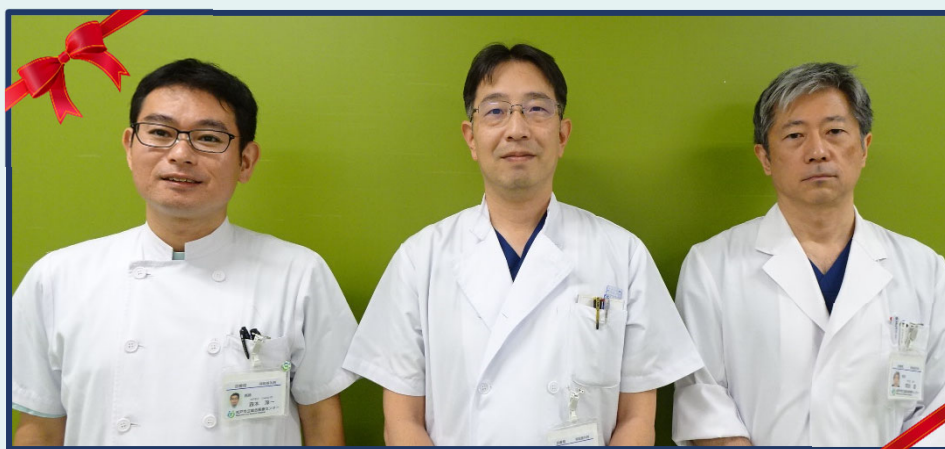
医療機関の皆様方へ毎月お送りしております「医療連携News」を是非ご高覧いただき、また患者さんへ必要な情報を提供いただけましたら幸甚に存じます。



呼吸器外科のご紹介

今月号では、呼吸器外科をご紹介します。

2022年3月より前任医師の退職に伴い、診療を制限いたしておりましたが、2022年8月より新たに呼吸器外科部長（星野英久）が赴任し、千葉大学大学院医学研究院呼吸器病態外科学のご支援の下、2022年10月より森本淳一医師が赴任、以前より勤務いたしておりました岡田直医師と共に3人体制で診療を行っております。



写真左より 森本 淳一医長・星野 英久呼吸器外科部長・岡田 直医長

当科では肺・縦隔・胸壁の悪性疾患（肺がん、転移性肺腫瘍、胸腺腫、悪性胸膜中皮腫など）や良性疾患（良性肺腫瘍や良性縦隔腫瘍、気胸や膿胸、重症筋無力症など）の外科療法を中心に診療を行っておりますが、今回は、[原発性肺癌と気胸の外科療法](#)についてご紹介いたします。

【原発性肺癌】

原発性肺癌は細胞形態と治療効果の違いで小細胞肺癌と非小細胞肺癌に大別され、非小細胞肺癌はさらに腺癌、扁平上皮癌、大細胞癌、カルチノイドやその他多種類に細分されております。日本では原発性肺癌は現在、悪性腫瘍による死亡原因の第1位（男性）と第2位（女性）となっております（2020報告）。

肺癌診療ガイドライン2020年版に基づき、病期、組織型、年齢、全身状態（PS）に加え、臓器機能、合併症などを考慮し治療方針を決定させていただきます。

手術適応

○非小細胞肺癌-臨床病期Ⅰ-Ⅱ期

腫瘍の存在する肺葉切除とリンパ節郭清を原則とする。術前の全身状態や呼吸機能上、肺葉以上の切除が不可能な患者には、縮小手術（肺楔状切除・区域切除）を考慮する。

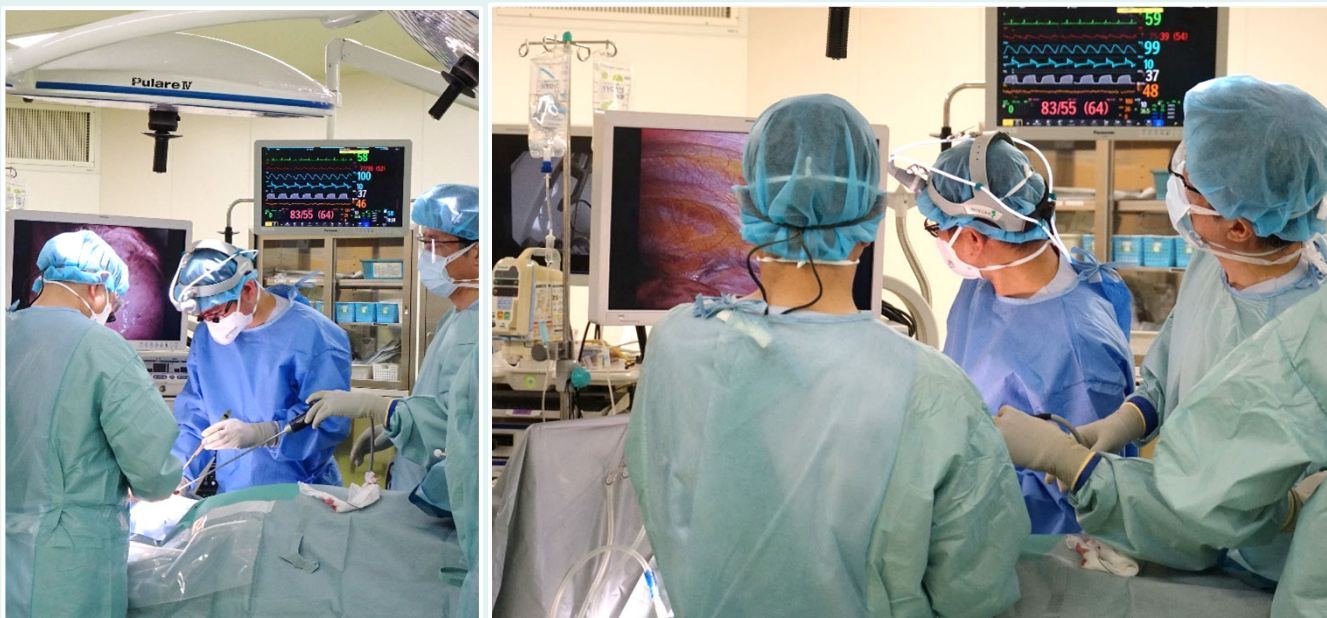
○非小細胞肺癌-臨床病期ⅢA期

集学的治療（手術、放射線療法、化学療法）が必要であるため、関連部署（呼吸器内科、放射線科、病理部）との協議の上、方針を検討する。cN0-1例と一部のcN2例に手術を検討し、術前治療（放射線療法、化学療法、放射線化学療法）を考慮する。

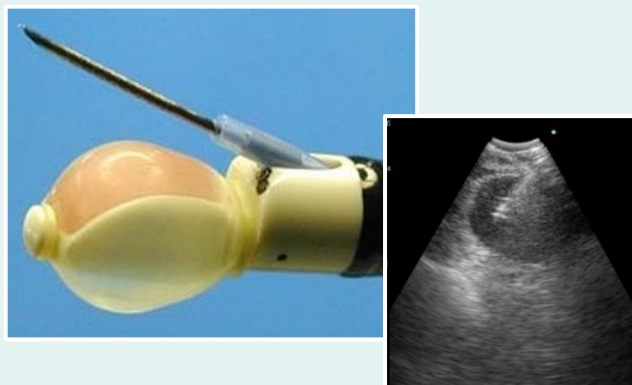
○小細胞肺癌-臨床病期Ⅰ期

腫瘍の存在する肺葉切除とリンパ節郭清を行い、術後にプラチナベースの補助化学療法（放射線療法）を予定する。

上記適応のもと、胸腔鏡（補助）下手術を主に、開胸手術も行っております。



当院呼吸器内科医師により、超音波内視鏡（ガイドシース併用気管支腔内超音波診断法：EBUS-GS）による術前診断がなされておりますが、正確な術前病期診断を目的としたリンパ節転移診断法として、**超音波気管支鏡ガイド下針生検（EBUS-TBNA）**も行っております。



新規治療薬の承認以降、肺癌の治療もより複雑化してきており、個々に応じた最適な治療を選択する時代となってきました。また、CTにより発見される肺野限局性すりガラス結節に対する対応を含め、肺癌の標準術式も変わってくる可能性があります。呼吸器内科医師、放射線治療医師との連携の下、患者さんにより最適な治療が提供できるよう心がけております。

【気胸】

気胸とは胸腔内に何らかの原因で空気が流入し、肺が虚脱する病態です。発生機序により分類されます。

①原発性気胸：気腫性肺嚢胞（ブラ・ブレブ）の穿孔・破綻による。若年男性に多く発症する。

②続発性気胸：基礎疾患に起因して起こる気胸。

COPD、気管支喘息、悪性腫瘍、結核、寄生虫症、間質性肺炎、肺リンパ脈管筋腫症（LAM）、月経随伴性、Bird-Hogg-Dube(BHD)症候群など。

治療法として、**保存的治療（安静経過観察、脱気、胸腔ドレナージ、胸膜癒着法）**と**手術治療**がありますが、当科における手術適応は下記になります。

○絶対的手術適応

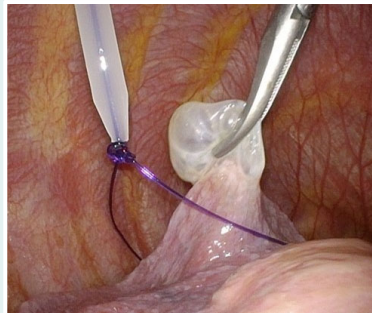
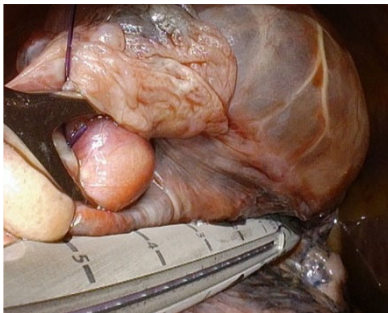
- ①胸腔ドレナージで空気漏れの遷延
- ②胸腔ドレナージで肺の再膨張不良
- ③血胸を伴う（胸腔ドレイン挿入時に1000ml以上の出血、または200ml/時以上の）持続的出血
- ④両側同時性気胸。

○相対的手術適応

- ①再発を繰り返す。
- ②初回でも気腫性肺嚢胞（ブラ・ブレブ）が画像で確認される。

手術適応

手術は胸腔鏡下手術を第一選択として行っており、**胸腔鏡下の気腫性肺嚢胞を含めた肺の**



切除やルーピング（結紮）を行うとともに、**胸膜の補強処置**を行っております。

難治性気胸や全身状態不良で手術のリスクの高い患者では、**胸膜癒着法**を検討させていただきます。

◆患者さんのご紹介と予約について◆

呼吸器外科は呼吸器センターに配置され、呼吸器内科と密に連携し、診療にあたっております。外来診療では肺・縦隔・胸壁の悪性疾患や良性腫瘍・気胸や膿胸、胸部外傷等の良性疾患の他、胸部異常陰影にて、胸部CTを含む精査が必要な患者さんについても新患を受け付けております。精査の結果内科的治療が必要な場合には呼吸器内科に紹介させていただきます。ご紹介の際は患者さんに紹介状をお渡しの上、地域連携室（紹介予約担当）にて予約をお取りいただきますようお願いいたします。

地域連携室（紹介予約担当） TEL047-712-0685 FAX047-712-2573

お知らせ – 内視鏡手術支援ロボット「da Vinci Xi」 –



去る9月24日、外科系医師が待ちわびていた手術支援ロボット「da Vinci Xi」の本体が当院手術室に納品されました。当院の手術室は計画段階から本機が稼働できるように設計されており、2017年12月の開院以来この日を心待ちにしておりました。

「da Vinci」では、患者さんの身体的負担が少ない腹腔鏡手術を、多関節を有する手術器具を使用して手ぶれ防止機能やMotion scalingによる精緻な動作によって行います。従来の腹腔鏡手術での操作困難性などの短所を補うことができ、より難易度の高い手術を少ない合併症で行うことができると言われております。2023年1月の実稼働に向け現在準備を進めており、詳細が決まり次第本誌でもご案内させていただきます。今後も安全でより良い医療を提供させていただく所存ですので、患者さんのご紹介を賜りますよう、お願い申し上げます。

松戸市立総合医療センター 医療技術局長 兼 外科部長 竹内 男



da Vinci と連動する新しい手術台も導入されました。

臨時休診等お知らせ (2022年11月18日現在)



*現時点で12月の休診予定はありません

令和5年1月 医師の休診					
整形外科	高野医師	10日(火)、17日(火)	眼科	太和田医師	19日(木)、20日(金)
血液内科	山崎医師	13日(金)			23日(月)
内科	高橋医師	31日(火)	循環器内科	福島医師	20日(金)

